

菩提山城跡ハイキングコース



菩提山城跡

1559年、標高402mに築かれた菩提山城の跡。土塁や堀で区画された曲輪の跡が残り、当時の復所や台所などの配置を見ることが出来ます。



明神湖

不破北部ダム建設でできた湖。西には岩手峠、南東には谷あいにある岩手の民家の景色が眺められます。



禅幢寺

1579年、36歳の若さで亡くなった半兵衛を弔うため、子の重門がここに墓を移しました。その後、竹中氏とその家臣の菩提寺となっています。敷地内には、半兵衛の墓と、父・重元の墓もすぐ近くにあります。



竹中半兵衛の墓

菩提寺

真言宗の布教のために、この地を訪れた空海が、天長元年(824)に豪族伊福氏の頼みにより開基となりました。伊福氏の氏寺として建てられたものでしたが、朝廷への功績が認められて定額寺となりました。



芭蕉の句碑

白山神社の鳥居の手前にある松尾芭蕉の句碑。大凶作でしたが、人々がイモを掘った様子を詠んでいます。

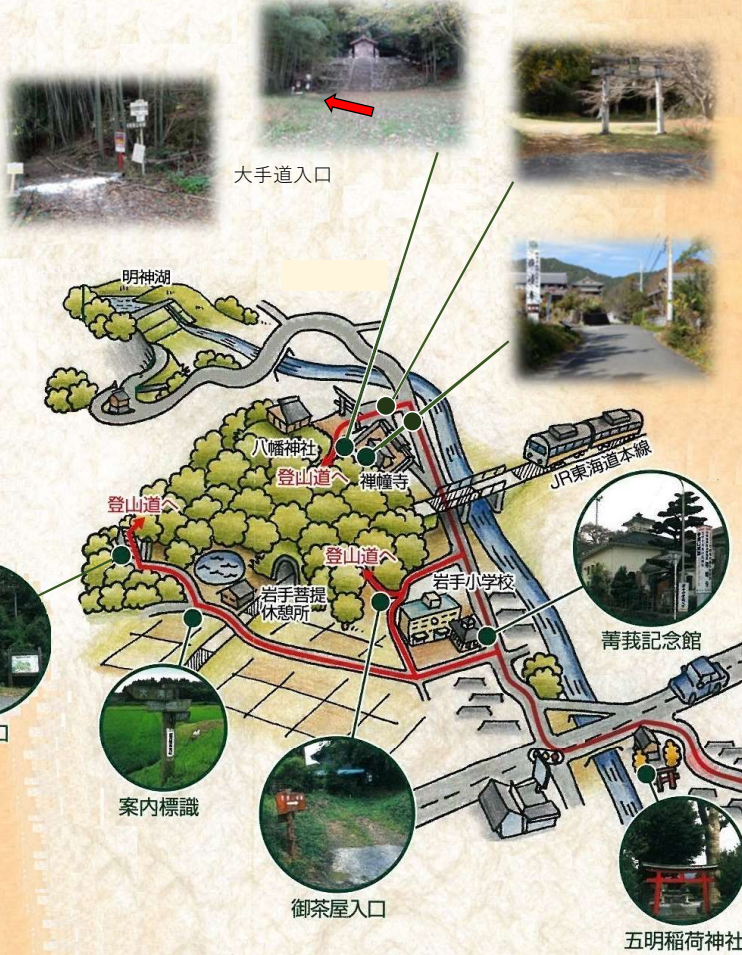


竹中氏陣屋跡

一族が菩提山山頂にあった城から、拠点に移した陣屋跡(入場無料)。大きな城の跡、白壁の正門、石垣が残るほか、半兵衛の銅像もあります。



菩提山城跡登山口詳細



大手道入口



菩提入口



案内標識



御茶屋入口